

## 石川県吹奏楽連盟 新型コロナウイルス感染防止ガイドライン

### 【来場者の感染防止】

- 1 感染防止の観点から前売り券を中心に販売し、当日券の販売は最小限にとどめる。満席の場合は当日券の販売は行わない。
- 2 チケットの裏面には氏名、連絡先の記入欄を設け、入場の際に記載をチェックする。未記載での入場はお断りする。
- 3 入館時にアルコールでの手指消毒を実施し、各所にもアルコール消毒液を設置して使用を促す。
- 4 入館時に非接触型体温計を設け、検温を実施する。  
万一、次の条件に該当する場合は入場をお断りする。
  - ① 37.5 度以上の発熱がある。または平熱と比べて高い発熱がある。
  - ② 極端な咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、眼痛・結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐の症状がある。
  - ③ 新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある。
  - ④ 過去 2 週間以内に政府から入国制限、入国後の経過観察を必要とされている国・地域への訪問歴、および当該在住者との濃厚接触がある。
- 5 マスク着用を徹底し、来場者同士の接触は控え、会話は必要最低限に留める。  
また、マスク着用下においても咳をするときは腕で口を覆う、または下を向くなどの咳エチケットを実施する。マスクを忘れた来場者に対してはマスクを配布する。
- 6 来場者の座席については以下の方式を用いる。(レンタルロッカー方式)
  - ① 来場者は、受付にてチケットを提示し、係員はチケットに座席番号記載のカードを止める。
  - ② 来場者を指定の座席に着席させる。
  - ③ お帰りの際はチケット（座席カード付）を受付に置いてお帰りいただく。
  - ④ 係員は休憩時間等に該当の座席の消毒（アルコール噴霧）を実施する。
  - ⑤ 消毒済みの座席は、新たな来場者に提供する。(カードは新しいものを再発行する。)
- 7 不特定多数の人が触れる箇所の定期的な消毒を行う。
- 8 3密（密閉・密集・密接）を避けるため、十分な間隔（最低 1m）を確保することを求める案内を提示する。
- 9 ホール内全てのエリアで適切な換気を実施する。  
扉等を開放し外気を取り入れ、扇風機やサーキュレーターによる換気を行い、換気量（20 m<sup>3</sup>/時以上）を保持できるよう努める。
- 10 感染防止を徹底するため、当分は、館内での飲食は禁止とする。
- 11 来場者には拍手のみとしていただくよう周知し、ブラボーなど大声を出す来場者がいた場合、個別に注意等行う。

## 【出演者の感染防止】

- 1 出演を希望する団体は、団体長が参加を許可する旨の記名押印した参加申込書を提出する。また、小学校、中学校、高等学校の団体は出演者全員の保護者承諾書を添付する。
- 2 石川県吹奏楽連盟加盟団体の顧問、団員、部員は全員会員証を持参の上、入館時にバーコードリーダーでチェックインをする。
- 3 事前に配布の健康観察シートを記入の上で入館する。入館の際には団体受付に観察シートを提出する。
- 4 入館時にアルコールによる手指消毒と非接触型体温計による検温を行う。  
万一、公演当日に下記項目に該当する場合は、館内への入場を制限する。
  - ① 37.5 度以上の発熱がある。または平熱と比べて高い発熱がある。
  - ② 極端な咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、下痢、嘔気・嘔吐の症状がある。
  - ③ 新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある。
  - ④ 過去 2 週間以内に政府から入国制限、入国後の経過観察を必要とされている国・地域への訪問歴、および当該在住者との濃厚接触がある。また、体調不良により出演できなくなった奏者が属する団体の顧問（代表者）は演奏の可否を連盟に申し出る。
- 5 マスク着用を徹底し、会話は必要最低限に留める。  
また、マスク着用下においても咳をするときは腕で口を覆う、または下を向くなどの咳エチケットを実施する。
- 6 小さな節目ごとに、こまめに手指消毒または手洗いをを行う。  
消毒液は舞台裏や控室、楽屋等、各所に設置する。
- 7 控室や楽屋内ではできるだけソーシャルディスタンスを保つようにする。
- 8 リハーサル室や舞台上の椅子や譜面台は使用後に係員が除菌シートを用いて消毒する。
- 9 機材の搬入、セッティング、搬出に際して十分な時間を設け、不特定多数が触れないようにする。
- 10 ステージ配置に関して、奏者間は前後左右 1m 以上の距離を保持し、近距離で向かい合うスタイルは避ける。  
また、トランペットやトロンボーン等のフロントベル楽器は前方の奏者との距離を最低 1.5m 確保する。  
指揮者と最前列奏者との間には 2m の間隔を確保する。  
また、指揮者と客席最前列までの距離は水平距離で 2m 以上確保する。  
指揮者、打楽器奏者、コントラバス奏者は、演奏中マスクを取ってもよい。ただし、横の奏者と 1 m の間隔を保てない場合はマスクを着用する。
- 11 各団体にはすべての金管楽器、木管楽器奏者に感染防止用の吸水シートを持参させる。  
リハーサル、本番を含め管楽器の結露は床に直接落とさず、シートに吸収させ、シートは各団体で持ち帰る。
- 12 演奏終了後は速やかにマスクを着用する。

### 【役員、スタッフの感染防止】

- 1 入館時にアルコールによる手指消毒と非接触型体温計による検温を行う。  
万一、公演当日に下記項目に該当する場合は、館内への入場を制限する。
  - ① 37.5 度以上の発熱がある。または平熱と比べて高い発熱がある。
  - ② 極端な咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、下痢、嘔気・嘔吐の症状がある。
  - ③ 新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある。
  - ④ 過去 2 週間以内に政府から入国制限、入国後の経過観察を必要とされている国・地域への訪問歴、および当該在住者との濃厚接触がある。
- 2 役員はマスクを着用する。また、必要に応じてフェイスシールド、手袋を使用する。
- 3 ソーシャルディスタンスを保持し、会話は必要最低限に留める。食事は分散して行い、密にならないよう配慮する。
- 4 不特定多数の人が触れる箇所を定期的に消毒するよう、周知を徹底する。

### 【審査員の感染防止】

- 1 入館時にアルコールによる手指消毒と非接触型体温計による検温を行う。  
万一、公演当日に下記項目に該当する場合は、館内への入場を制限する。
  - ① 37.5 度以上の発熱がある。または平熱と比べて高い発熱がある。
  - ② 極端な咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、下痢、嘔気・嘔吐の症状がある。
  - ③ 新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある。
  - ④ 過去 2 週間以内に政府から入国制限、入国後の経過観察を必要とされている国・地域への訪問歴、および当該在住者との濃厚接触がある。
- 2 マスク着用を徹底し、会話は必要最低限に留める。  
また、マスク着用下においても咳をするときは腕で口を覆う、または下を向くなどの咳エチケットを実施する。
- 3 審査員控室にアクリルパーテーションを設置し、飲食時の感染対策を実施する。また、了解を得た上で、食器等も使い捨て容器での提供とする。
- 4 控室等にアルコール消毒液を設置し、使用を促す。

※体調不良者や感染が疑われる人が出たときの対応

- ① 救護室へ案内し、検温など全身状態を確認。隔離する。
- ② 速やかに医療機関及び保健所へ連絡。指示を受ける。

帰国者・接触者相談センター連絡先

金沢市保健所 TEL : 076-234-5106 FAX : 076-234-5104

- ③ 保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、氏名及び緊急連絡先を把握し名簿を作成する等、必要な情報提供を速やかに行えるよう体制を整える。また、個人情報は漏洩することのないよう厳重に管理し、一定期間保存後、適切に破棄する。

ガイドライン策定協力団体  
石川県音楽文化振興事業団

制定 令和2年10月31日  
改定 令和3年6月20日  
(今回改定箇所は下線部)